

# 横浜若葉台 マスタープラン策定委員会ニュース

第3号

平成28年11月  
発行：策定委員会事務局

## 中間報告会・ワークショップを開催しました！

2月から始まった策定委員会も4回目となり、再び肌寒い季節を迎えることとなりました。

今回のニュースでは第4回の委員会の他、10月30日に開催し、盛況だった中間報告会及びワークショップについてご報告いたします。

### 第4回策定委員会の開催

10月28日に第4回となる横浜若葉台マスタープラン策定委員会を開催いたしました。

これまでの委員会の中で若葉台の現状の課題や魅力をまとめ、第4回では目標及び方針や将来を見据えた取組み方針について議論を進めてまいりました。

今後は、まちづくりの目標や重点的な取組みなど、マスタープランの核心部を作成する作業を行っていきます。

次回開催は12月13日を予定しており、プラン策定後の進捗管理方法なども検討しながら、全体の素案を作成します。

### 中間報告会・ワークショップ

10月30日に若葉台地区センター体育館にて中間報告会とワークショップを開催しました。

午前に実施した中間報告会には約70名が参加。主にマスタープランの役割、現状や課題について説明を行い、質疑応答も行いました。午後から開催したワークショップには約50名が参加。子育て、高齢者、中心街、住宅流通、次世代への継承の5つのテーマグループに分かれ、意見交換とアイデア出しを行いました。

成果発表では各グループから斬新で説得力のあるアイデアが。今回のために横浜国大の野原ゼミの学生さんたちが作成してくださった「若葉台まちづくりアイデアカード」を皆さん興味深く読み、自分の意見を広げました。



中間説明会の様子。



委員長の横浜国大野原准教授による説明



グループワークでアイデアを詰めていく



ワークショップの様子。壁には野原ゼミの学生によるアイデアカードが並び、

中間報告階にて配布した資料は、まちづくりセンター正面入口のカウンターにてご覧いただけます。

# まちづくりワークショップ

各グループから出た意見・アイデア一覧

**チームA 高齢者**  
『最後まで若葉台に住みたい』  
・賃貸住宅をサービス付き高齢者住宅へ  
・小規模多機能施設、地域ケアプラザを複数設置  
・多世代が交流できるカフェ、フードコート

**チームB 中心街**  
『新しいふれあいの“場”を創る』  
・HARU・空き店舗・公園・旧西中を活用  
・若葉台公園にBBQ場  
・中心街の広場フードコート化

**チームC 子育て**  
『一時保育の充実が若葉台を救う！』  
・現代は「子育て中の親の孤立」が問題。  
・「一時預かり」は子育て世帯を呼び込む決め手となる。

**チームD 次世代への継承**  
『新しい人に来てもらうために』  
・人材活用 地域コンシェルジュセンター  
・若いファミリーを呼ぶなら「一時預かり」。

**チームE 住宅流通**  
『住まい方、暮らし方』  
・若葉台の特徴を活かしたシェア暮らし  
・シェアな暮らし方を確立させて情報発信

**チームF 中心街**  
『いつでもだれでも集える商店街』  
・全天候型・回遊型へ。利便性アップ  
・バス停位置の検討や床タイルの改修。  
・子供連れOKのワンコインで食事できる場。  
・空き店舗を一般の人に貸す。



ワークショップではグループ毎に出た意見やアイデアを模造紙にまとめて発表を行なった。

1-5 子供預かり型サ高住<sup>※</sup>をつくる

子供を預かる仕組みを設けた、サービス付き高齢者向け住宅（付高住）の提案です。

お年寄りが子供をお預けしつづ、子供を通して親がお年寄りへの見守りの役割を果たし、相互にケアし合う体制を作ることができます。

また、運営は若葉台団地と隣りの深い地元慈善法人（赤松会・明芳会等）が行うことを想定しています。病院での診察や団地内施設の運営協力（地域交流拠点「ひまわり」など）を通して若葉台団地の方々の医師を支援していただく経験や学生ボランティアに協力し、団地のお年寄りへの温かな配慮・サポートができると考えられます。

※付高住（サービス付き高齢者向け住宅）は、自立（付高住）とあり、付高住のみの募集を行うことも、付高住と付高住の併設を行うことも可能です。

NEXT 若葉台 ミーティング  
若葉台好きによるまちづくりワークショップ アイデアカード 2016/10/30

5-5 若葉台で移動販売車

団地全体で毎週日の移動販売車を利用し、曜日毎に用途の違う車が巡回をします。

月曜日：野菜販売  
火曜日：居酒屋・BAR  
水曜日：喫茶  
木曜日：図書館  
金曜日：お弁当販売  
土曜日：地域の学生起業家向けに2台ほど投入します。（できれば、団地内にも受けるための設備が備わるとよい）

【事例】東京大学のキャンパスストア「たなかーふるらつ」

NEXT 若葉台 ミーティング  
若葉台好きによるまちづくりワークショップ アイデアカード 2016/10/30

↑野原ゼミによるアイデアカードの例。

参加者からは「今まで交流が無かった方と意見交換できて楽しかった」「普段考えていることを話せてスッキリした」など前向きなコメントが多数寄せられました。

一方「マスタープランってなに？わかりにくい」「もっと参加者を増やすべき」など、今後検討や改善を要する声もいただきました。

野原ゼミ作成のアイデアカードは12月末日までショッピングタウンわかば内「コミュニティオフィス春」に掲示しておりますので、学生さんたちの力作を是非ご覧下さい。

策定委員会では全6回を予定し、今回得られた意見等を踏まえ議論を進め、年度内のマスタープラン完成に向け、改めて案を提示する場を設ける予定ですので、ご支援をお願いいたします。

ご意見等ございましたら、若葉台まちづくりセンターホームページのお問い合わせページもしくは委員会事務局公社担当(団地再生事業部事業企画課045-651-1957)まで。(策定委員会事務局)

若葉台まちづくりセンター：<http://www.wakabadai-kc.or.jp/> 神奈川県住宅供給公社：<http://www.kanagawa-jk.or.jp/>